

落語で学ぼう認知症

渋川市では、認知症になっても暮らしやすい地域を作るため、認知症の方やその家族を見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する講座を開催します。

楽しい落語をとおして、「認知症」について一緒に考えてみませんか？

【日時】 令和4年7月26日（火） 午後2時～3時30分

【会場】 赤城公民館 1階ホール 渋川市赤城町敷島 568 番地 1

【定員】 約 50 名 ※収容数 250 名の会場にて、感染症対策を行い開催します

【対象】 渋川市内在住・在勤在学の方 ※世代は問いません

【内容】 *創作落語「認知症」 *保健師によるミニ講話

*丹野智文さん(若年性認知症当事者)のビデオメッセージ

【講師プロフィール】 内村 英徳さん

特別養護老人ホームなゆた（安中市） 副施設長／ケアマネジャー

【落語創作への想い】

人は自然に年をとり、老いていき、だんだんとできなくなる事が多くなっていくものです。頭の中も同じこと。老化現象は起きています。認知症になるとあたかも“その人がその人でなくなってしまう”かのように思われがちです。

そんな認知症の悪いイメージを、介護現場での経験を活かし「認知症とは？」「どうすればいいの？」を、落語という視点から捉えて探っていきます。

認知症を正しく理解し、誰にでも訪れる老いの中で、『認知症にならないようにする』のではなく、『認知症になれる社会』を目指して活動しています。

皆さんと一緒に、笑いの中から何かヒントが見つければうれしいです！



《お問い合わせ・申し込み先》 締切日：7/15 ※先着順

渋川市赤城地域包括支援センター

渋川市赤城町北赤城山 1055-1（介護老人保健施設 赤城苑内）

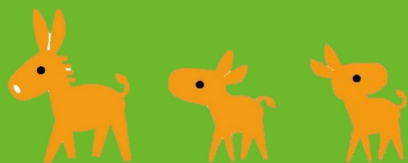
TEL：0279-26-2218 月～金曜日 8:30～17:15



↑QRコードからも
申し込みできます

認知症について学び、地域で支え合い

認知症サポーター 養成講座



出前講座
します

(無料)

認知症サポーターとは
認知症について正しく理解し、認知症の方や
その家族を見守り支える「応援者」です

講座内容

認知症ってどんな病気？
認知症の方への関わり方
認知症サポーターにできること
渋川市での取り組み など

自治会や「いきいきサロン」での開催のほか、企業や事業所等への出前講座も積極的
おこなっています。ぜひご活用ください！

人数 5名以上から開催できます

場所 集会所、ご自宅、公民館など
(感染予防に留意した開催を行います)

時間 60～90分程度
(内容によって調整できます)

講師 地域包括支援センター職員
(キャラバン・メイト)



お問い合わせ・申し込み

渋川市赤城地域包括支援センター

住所：渋川市赤城町北赤城山1055-1

電話：0279-26-2218